

地域連携センター関係資料

1. 生涯学習事業（オープンカレッジ講座）

地域連携センターでは、本学の教育・研究の成果を幅広く一般の方や近隣住民の方々に提供することを目的として、生涯学習事業『オープンカレッジ』を開講しております。

令和6年度は、より多くの皆様が受講しやすい環境を目指し、本学ブランドを意識した新規対面講座の設定（※書道講座や歴史講座等）や無料オンライン講座の継続開講に加え、受講料の支払方法拡充（※銀行振込を導入）を行いました。

令和6年度の「主な開講講座」「開講状況」は以下のとおりです。

青桐会会員の皆様のお申し込みをお待ちしております。

【主な開講講座】※抜粋

○オンライン講座

「古代武蔵の渡来文化」、「大東文化大学の100年史」、「健康を科学するオンラインカレッジ1」、「健康を科学するオンラインカレッジ2」他

○教養講座

「“成功”の歴史を考える」、「『百人一首』をよむ」、「教養とヒューマニズム」、「『平家物語』を読もう」、「『伊勢物語』の世界」、「お酒とコーヒーと健康と」他

○歴史講座

「通史で学ぶ 中国の歴史」、「日本古代史講座」、「埼玉の歴史を考古学資料から考える」他

○芸術講座

「書道（楷書・行草書・篆書・隸書・かな・篆刻）」、「中国水墨画」、「散らしを楽しむ」、「遊びの工芸」、「絵と書のコラボレーション」、「フラワーアレンジメント」他

○健康講座

「楊名時太極拳」、「元気に100年 筋運アップ」、「アクアフィットネス」他

○語学講座

「英語（初級・中級）」、「中国語（初級・中級）」、「韓国語（初級）」他

【講座開講状況】

	会場	講座開設数	講座開講数	受講者数 (内数 本学学生)
春 期 講 座	オンライン講座	4	4	258 (0)
	大東文化会館	33	31	493 (0)
	東松山キャンパス	26	25	366 (0)
	春期講座 計	63	60	1,117 (0)
秋 期 講 座	オンライン講座	4	4	216 (0)
	大東文化会館	30	29	479 (0)
	東松山キャンパス	24	24	303 (0)
	秋期講座 計	58	57	998 (0)

2. 社会連携・社会貢献活動

令和6年度に実施した主な社会連携・社会貢献活動事業は次のとおりです。

【東京都板橋区との主な連携事業】

板橋区内にキャンパス等を立地する6大学（大東文化大学、東京家政大学、淑徳大学、日本大学医学部、帝京大学、東洋大学）と板橋区の連携事業として、各大学に対する区民の認知度向上と大学の魅力発信を目的に、区役所1階情報スペースにて6大学PRの催事を行った他、板橋区民まつりを通じて、板橋区・区内大学・地元企業が一致団結して取り組む環境美化への取り組み（「ひろえば街が好きになる運動」及び「SDGsプラットフォームブース」）に学生を派遣しました。また区の魅力発信から地域の賑わい創出を図る取り組み「板橋区観光ガイドブック『いたちょこブック』」の取材・編集に本学のボランティアサークル「なかいた環創堂」の学生が携わりました。

そして、令和6年度からの新しい取り組みとして、板橋区教育委員会・区内大学と協働し、小学生を対象とした新たな学びの機会を提供する場「いたばし未来子ども大学」を開講し、初年度は本学、東京家政大学、板橋区立教育科学館を会場に計3日程で区内児童への教育支援活動を行いました。

今後も区内の諸催事への社会連携・社会貢献活動を積極的に行ってまいります。

【埼玉県東松山市との主な連携】

「きらめき市民大学」や市民講座への講師派遣、市内小学校4年生から6年生までの希望者を対象とした「子ども大学ひがしまつやま」の開校、各種審議会への委員派遣、自治体主催事業でのボランティア学生派遣や会場提供による運営協力など、多岐にわたり積極的に連携事業を行っております。2021年度から参画している「TABETE レスキュー直売所」では、本学と東松山市のほか、東武鉄道株式会社、埼玉中央農業協同組合、株式会社コークッキング、株式会社大塚応援カンパニーの6者での産学官連携による協定を締結した事業を行っています。この取り組みは、東松山市周辺のJA直売所でタ

方までに売り切れなかった農産物を東武東上線森林公園駅から列車に積み込み池袋駅まで輸送し、再販売して食品ロス削減を目指すもので、学生への社会課題の認知拡大や学びの場を提供する機会にもなっています。その顕著な功績が認められ、2023年3月には、第6回ジャパンSDGsアワードにて「SDGs推進副本部長（内閣官房長官）表彰」を受賞しています。

【宮城県東松島市との連携事業】

東日本大震災の翌年より、「大東文化大学東松島フレンドシッププロジェクト」と称して交流事業を続けており、2017年1月に地域連携基本協定を締結しました。

これまでの交流事業として、相撲部を派遣した「ちびっこ相撲」の実施、管弦楽団を派遣した「東松島フレンドシップコンサート」、2018年度より本学学長による講演会の実施、学生が事前学習や現地でのフィールドワークを通じて、復興に向けた街づくりのアイデアや市が抱える政策課題について提案する「東松島フレンドシップ PBL」などの事業を実施したほか、学生・教職員による現地でのボランティア活動・イベントへの参加等、様々な連携を行ってきました。

令和6年度は、「東松島フレンドシップ公開講座」にて本学教員が講師となり講義や指導を行ったほか、同市で開催された「宮城オルレフェア 2024」や友好都市である東松山市で開催された「日本スリーデーマーチ」での東松島市の物販・観光 PR ブースの運営補助に本学学生、教職員の参加、2024年11月に開業された「道の駅東松島」のオープニングセレモニーに本学の全學應援團・吹奏楽団が参加しました。

今後も交流事業の充実を図ってまいります。

【その他の自治体との連携事業】

この他にも、埼玉県ふじみ野市、久喜市、同ときがわ町、同鳩山町、同小川町、群馬県太田市と地域連携協定を締結しております。

【その他の連携事業】

本学が参画する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム」(TJUP)の取り組みが、文部科学省実施の「私立大学等改革総合支援事業」におけるタイプ3「地域社会の発展への貢献」(プラットフォーム型)に平成30年度より継続して採択されております。この「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム」(TJUP)事業は近隣の14大学、22自治体、17企業が共同で地域社会への貢献を図るプラットフォームを形成し、生活しやすい地域づくりの推進を目指して、公開講座の開催、近隣の教育委員会との審議会の開催、官学連携事業としてクリーンウォークイベントの開催などを行っております。この他にも地域産業の活性化を目指しての多くの「産学官」交流や多様な高等教育の提供などをテーマとして掲げて、活発な活動を行っております。

今後とも、地域連携センターの事業に、ご理解とご協力をお願いいたします。